

**平成 28 年度 指定管理者年度総合評価表**  
(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月実施分)

作成日	平成 29 年 5 月 31 日
-----	------------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市福祉公民館・八戸福祉体育館		
所在地	八戸市類家四丁目 3 番 1 号		
施設概要	<p>《設置目的》 福祉公民館…市民の福祉増進を図るため、社会福祉及び市民の生活の維持向上の場として設置されたもの。 福祉体育館…勤労身体障害者のスポーツの普及振興を図り、健康の増進と勤労意欲の高揚に資することを目的として設置されたものである。</p> <p>《建物構造》 福祉公民館…鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上 2 階建塔屋 1 階建 福祉体育館…鉄骨造（一部コンクリート造）平屋建</p>		
指定管理者	名称	三八五ふれあいネット	
	代表者	三八五バス株式会社 代表取締役 新井山 長吉	
	所在地	八戸市江陽二丁目 18 番 37 号	
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日		
指定管理者の業務	<p>(1) 福祉公民館、福祉体育館の使用の許可に関する業務</p> <p>(2) 福祉公民館、福祉体育館の施設、設備等の維持管理に関する業務</p> <p>(3) その他市長が必要と認める業務</p>		
市所管課 (問合せ先)		福祉公民館	福祉体育館
		福祉部 福祉政策課 福祉政策グループ	福祉部 障がい福祉課 障がい福祉グループ
	電話	0178-43-9258 (直通)	電話 0178-43-9106 (直通)
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp	E-mail shogaif@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館のボイラーや運動場入口ドアの工事のため、来館者数の減少が心配されたが、施設の利便性も向上し、利用件数及び来館者数ともに前年度を上回ることができた。</li> <li>・高齢者の健康づくりのために、高齢福祉課と連携し、「筋力トレーニング・音楽療法」を行った結果、健康への関心や意欲が高まり利用者が増えた。</li> <li>・市民の健康づくりのために自主事業として「エアロビ体操、ルーシーダットン(タイ式ヨガ)、カラオケ教室等」を行っている。参加者の健康づくりに対する意欲が高まり、体力の維持・向上に向けて積極的な取組が見られ、着実に成果を上げている。</li> <li>・チャリティー事業である「福祉公民館ふれあいまつり(各講座・教室の発表、授産施設の作品展示や作品の紹介、協力団体の演技発表等)」を自主事業として行い、市民活動の拠点としての役割を果たした。なお、福祉公民館ふれあいまつりの収益金は、八戸市へ寄附した。</li> </ul>
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度は、福祉公民館、体育館ともに暖房設備工事が行われるため、利用者が計画的に利用できるよう情報の発信に努めたい。また、利用者に不便を感じさせないように施設・設備の点検と整備に努めたい。</li> <li>・多くの市民に親しまれる福祉公民館にするために、各団体との連携を深めながら、利用者の要望や意見も取り入れ、利用者が楽しく活動できるような事業を更に工夫していく。</li> <li>・年数回、事業内容や職員の対応等について、利用者満足度調査を行い、利用者から親しまれ喜ばれるような運営を目指していく。</li> <li>・職員は、関係法令・条例を遵守し、利用者の公正・公平な利用の確保に努める。</li> </ul>

## ■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な施設管理が実施されていた。</li> <li>・利用者への対応が適切に行われ、適正な管理・運営がなされた。</li> <li>・自主事業は施設の設置目的に合致した講座等を開催するなどして、市民への周知を図りながら利用者の増加に努めており、評価できる。</li> </ul>
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

## ■管理運営状況に係る個別評価

## 1 管理状況

指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	開館時間延長や休館日を減らすなど、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営をするために必要な人員を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	募集時の提案通りの雇用となった。 ・障がい者を2人を雇用した。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	提案内容と概ね同水準の地域貢献活動が行われた。 ・福祉団体との共催で、「福祉公民館ふれあいまつり」を開催し、チャリティーコンサートの収益金は、社会福祉事業等のために八戸市に寄附をした。
従事者の教育・研修	○	従業員の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急時に対する対応（準備）が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備されており、作成、受領した文書の適切な管理がなされていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等の提出や内容が適切であった。
使用料の徴収事務 ※徴収委託をしている場合	○	使用料等の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理者の収支は専用口座で管理し、経理区分が整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	20年度から22年度、23年度から28年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、準備なし。
管理終了後における引継ぎ	—	20年度から22年度、23年度から28年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。

重要事項の変更の届出	—	事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が設置条例に従い適切に行われていた。 (使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

## 2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明									
福祉公民館・福祉体育館 利用状況	○	<p>利用者数は当初の目標（27年度と同程度）を概ね達成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度</td> <td>3,937件</td> <td>96,878人</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>4,288件</td> <td>96,212人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・28年度は、体育館ボイラー工事による休館があったが、貸し館の利用件数は前年度を上回ることができた。</p>	年度	件数	利用者数	27年度	3,937件	96,878人	28年度	4,288件	96,212人
年度	件数	利用者数									
27年度	3,937件	96,878人									
28年度	4,288件	96,212人									
その他利用状況	○	<p>幼児・子供の健康づくりのために、キッズサッカーを行っている。 28年度も少年サッカーを実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>400人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加者数	27年度	400人	28年度	400人			
年度	参加者数										
27年度	400人										
28年度	400人										
自主事業	○	28年度も「体力・健康・生きがいつくり講座」や「福祉公民館ふれあいまつり」など、自主事業を開催した。									
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	福祉公民館・福祉体育館のPRと利用者を増やすため、各団体、諸機関の訪問活動をした。									

## 3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																														
指定管理業務の収支状況	○	<p>収支は黒字であった。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収入 ①</td> <td>指定管理料</td> <td>32,347,000</td> <td>32,347,000</td> <td>31,182,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32,347,000</td> <td>32,347,000</td> <td>31,182,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出 ②</td> <td>人件費</td> <td>12,549,000</td> <td>12,612,413</td> <td>12,374,037</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>17,874,000</td> <td>14,747,477</td> <td>13,315,615</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>924,000</td> <td>836,007</td> <td>751,233</td> </tr> <tr> <td>租税</td> <td>1,000,000</td> <td>1,154,494</td> <td>1,236,450</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32,347,000</td> <td>29,350,391</td> <td>27,677,335</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>8,682</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">返納金 ④</td> <td>燃料費負担金精算金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,432,080</td> </tr> <tr> <td>修繕費精算返納金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>65,476</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,497,556</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収入－支出 (①－②－③－④)</td> <td>0</td> <td>2,987,927</td> <td>2,007,109</td> </tr> </tbody> </table> <p>・支出実績が支出計画を下回った要因は、暖房用重油価格が上昇したものの、入札の結果、安価に仕入れることができたためである。</p>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入 ①	指定管理料	32,347,000	32,347,000	31,182,000	修繕料繰越金	0	0	0	計	32,347,000	32,347,000	31,182,000	支出 ②	人件費	12,549,000	12,612,413	12,374,037	維持管理経費	17,874,000	14,747,477	13,315,615	事業費・一般事務費	924,000	836,007	751,233	租税	1,000,000	1,154,494	1,236,450	計	32,347,000	29,350,391	27,677,335	次年度修繕料繰越金③		0	8,682	0	返納金 ④	燃料費負担金精算金	0	0	1,432,080	修繕費精算返納金	0	0	65,476	計	0	0	1,497,556	収入－支出 (①－②－③－④)		0	2,987,927	2,007,109
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																												
収入 ①	指定管理料	32,347,000	32,347,000	31,182,000																																																												
	修繕料繰越金	0	0	0																																																												
	計	32,347,000	32,347,000	31,182,000																																																												
支出 ②	人件費	12,549,000	12,612,413	12,374,037																																																												
	維持管理経費	17,874,000	14,747,477	13,315,615																																																												
	事業費・一般事務費	924,000	836,007	751,233																																																												
	租税	1,000,000	1,154,494	1,236,450																																																												
	計	32,347,000	29,350,391	27,677,335																																																												
次年度修繕料繰越金③		0	8,682	0																																																												
返納金 ④	燃料費負担金精算金	0	0	1,432,080																																																												
	修繕費精算返納金	0	0	65,476																																																												
	計	0	0	1,497,556																																																												
収入－支出 (①－②－③－④)		0	2,987,927	2,007,109																																																												
自主事業の収支状況	○	<p>収支は黒字であった。</p> <table> <tbody> <tr> <td>収入実績額</td> <td>28年度</td> <td>1,766,700円</td> <td>(前年 2,164,929円)</td> </tr> <tr> <td>支出実績額</td> <td>28年度</td> <td>1,393,820円</td> <td>(前年 1,709,249円)</td> </tr> <tr> <td>収支実績額</td> <td></td> <td>372,880円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	収入実績額	28年度	1,766,700円	(前年 2,164,929円)	支出実績額	28年度	1,393,820円	(前年 1,709,249円)	収支実績額		372,880円																																																			
収入実績額	28年度	1,766,700円	(前年 2,164,929円)																																																													
支出実績額	28年度	1,393,820円	(前年 1,709,249円)																																																													
収支実績額		372,880円																																																														

## 4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	「利用者要望ボックス」及びその結果を生かす仕組みがあった。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法、施設予約状況、各種講座・サークル活動をホームページで積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等に対し、適切に対応していた。 意見ポストを設置していた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、来館者へも周知していた。 平成27年度実績 要望 6件 平成28年度実績 要望 1件
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っていた。

## ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の快適かつ安全な施設利用ができるよう、保守点検等により設備及び備品の維持管理に努めた。また、定期的（毎日3回）な施設点検や「利用者要望ボックス」の設置などにより、事故等の防止と設備異常の早期発見及び安全確保に努めた。</li> <li>・年3回、更生館・児童科学館・福祉公民館・福祉体育館4館合同避難訓練を実施し、利用者の安全確保に努めた。</li> <li>・種差少年自然の家での接客マナーや救命講習、ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナー等の研修会に積極的に参加し、サービスや施設運営の向上に努めた。</li> </ul>			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	月例報告及び事業報告等が遅滞なく提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	21回	5月11日	担当	施設状況確認
		5月31日	GL・担当	施設及び敷地内状況確認、帳簿等確認
		6月10日	担当	施設状況確認
		7月6日	GL・担当	施設状況確認
		8月23日	担当	施設及び敷地内状況確認
		8月26日	GL	施設状況確認
		8月31日	担当	施設状況確認
		9月20日	担当	施設状況確認
		9月28日	担当	施設及び敷地内状況確認
		10月28日	担当	施設状況確認
		11月1日	担当	施設状況確認
		11月11日	担当	施設状況確認
		12月1日	担当	施設状況確認
		12月8日	担当	施設状況確認
		12月13日	担当	施設状況確認
		12月19日	担当	施設状況確認
		1月26日	担当	施設状況確認
		2月16日	担当	施設状況確認
		3月7日	GL	施設状況確認
3月24日	担当	施設状況確認		
3月29日	GL	施設状況確認		
実施結果				
施設内及び敷地内の状況を確認したが、利用者が安全で快適に利用できるよう配慮し、適切な施設管理が実施されていた。				

※GL：グループリーダー